

令和2年度みよし市行政評価市民アンケート結果

1 アンケート調査の実施概要

目的

第2次みよし市総合計画（以下「総合計画」という。）に掲げた18の取組方針及び基本的な考え方における各取組に対する満足度と重要度について市民の皆さまの考えをお聞きし、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しました。

調査期間

令和2年12月1日（火）から令和2年12月28日（月）まで

調査対象者

令和2年11月1日を基準日とし、本市に住民登録されている18歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出しました。

調査方法

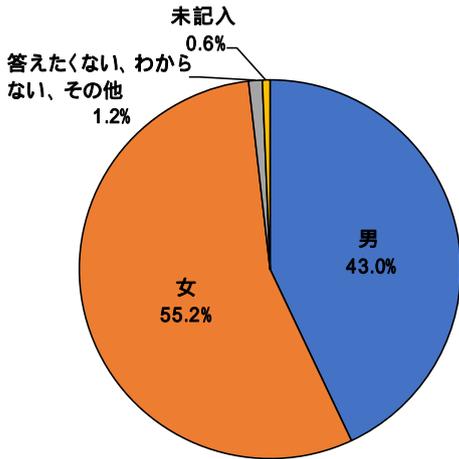
郵送配布（回収は、郵送、直接、インターネット【令和2年度から導入】）

回答結果・回答属性

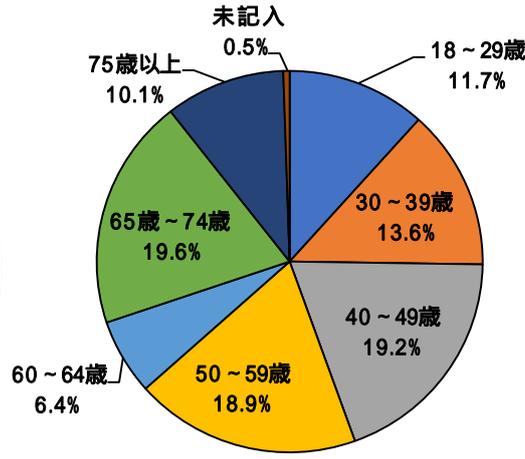
アンケートは935人（インターネット回答291人）から回答をいただきました。詳細は、以下のとおりです。

区分		11月1日時点 人口（人）	配布対象者 (A)（人）	(A)の構成比	回答数 (B)（人）	(B)の構成比	回答率 (B/A)
総計		61,255	2,000	-	935	-	46.8%
性別	男性	31,431	973	48.6%	402	43.0%	41.3%
	女性	29,824	1,027	51.4%	516	55.2%	50.2%
	答えたくない わからない その他	-	-	-	11	1.2%	-
	未記入	-	-	-	6	0.6%	-
年齢	18～29歳	9,200	365	18.2%	109	11.7%	29.9%
	30～39歳	7,624	311	15.6%	127	13.6%	40.8%
	40～49歳	9,986	406	20.3%	180	19.2%	44.3%
	50～59歳	8,999	355	17.7%	177	18.9%	49.9%
	60～64歳	2,834	114	5.7%	60	6.4%	52.6%
	65～74歳	5,712	298	14.9%	183	19.6%	61.4%
	75歳以上	5,441	151	7.6%	94	10.1%	62.3%
	未記入	-	-	-	5	0.5%	-
居住地	おかよし	22,824	772	38.6%	344	36.8%	44.6%
	きたよし	8,810	266	13.3%	150	16.1%	56.4%
	なかよし	23,222	773	38.6%	332	35.5%	42.9%
	みなよし	6,399	189	9.5%	103	11.0%	54.5%
	未記入	-	-	-	6	0.6%	-

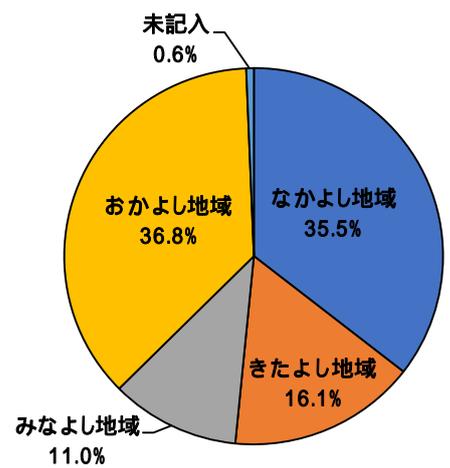
【性別】



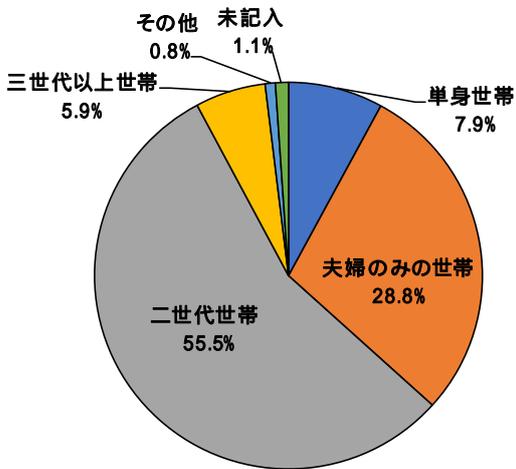
【年齢】



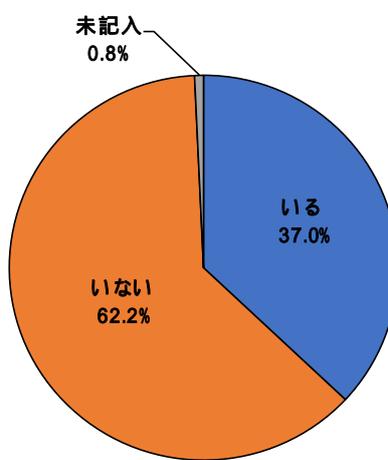
【居住地域】



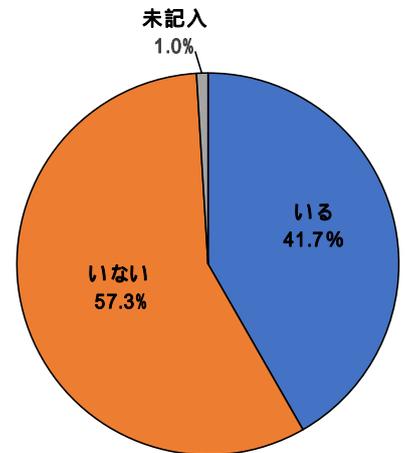
【家族構成】



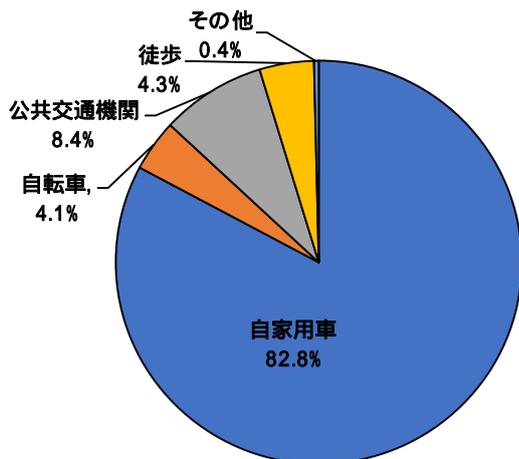
【18歳未満の家族】



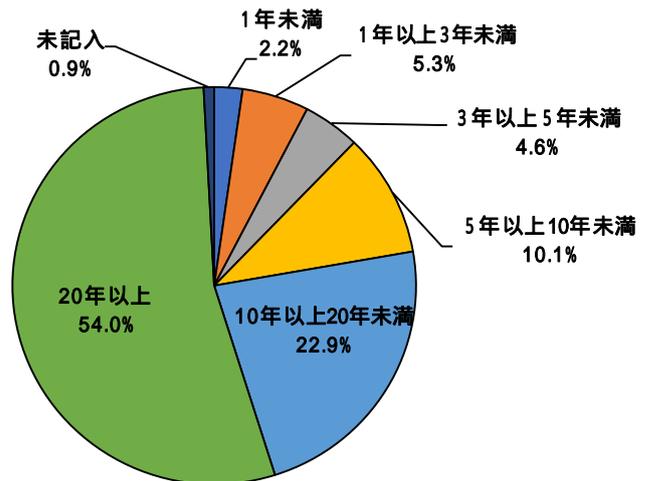
【65歳以上の家族】



【交通手段】



【居住年数】



複数回答可のため、回答有の割合を算出

今後の活用方法

本アンケートを行政評価（施策評価・事務事業評価）における、令和2年度の実績として活用するとともに、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

2 アンケート調査結果

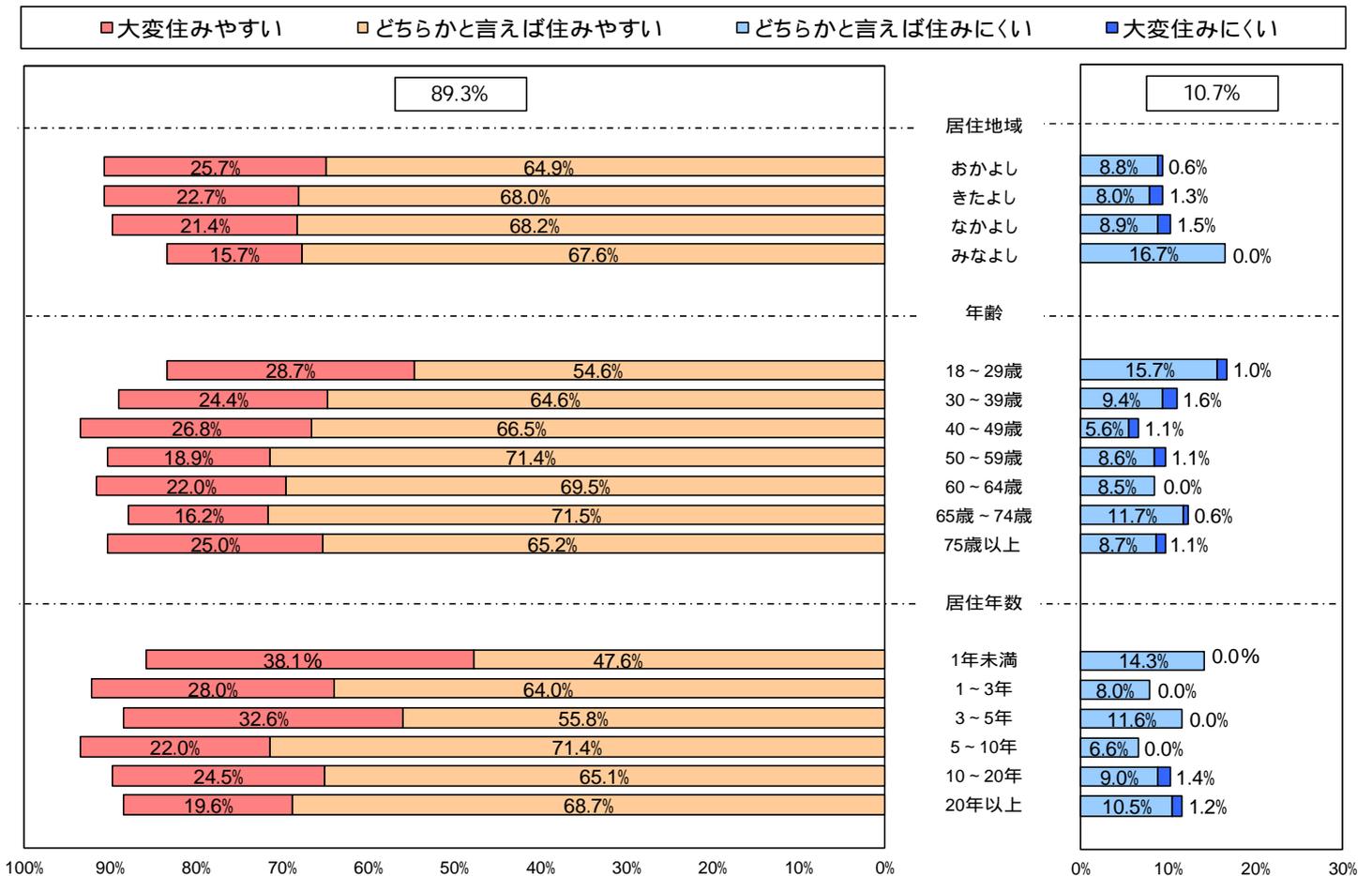
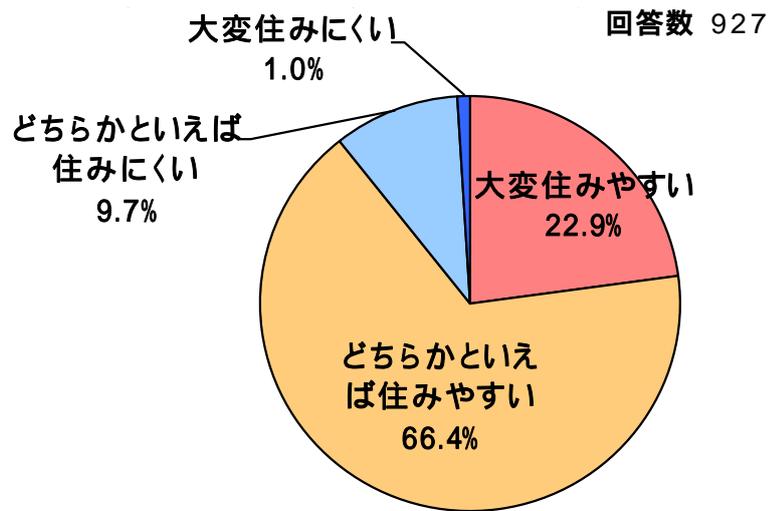
住みやすさについて

みよし市の住みやすさについて、全体では「どちらかといえば住みやすい」が約66%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が約23%と、約9割の人が“住みやすい”と評価しています。

“住みやすい”と思う主な理由としては、「生活に必要な施設が整っている」、「自然が豊か」などとなっています。

一方、“住みにくい”と思う理由は、「電車やバスなど交通の便が悪い」、「商業施設が少ない」などとなっています。

Q あなたは、みよし市が住みやすいまちだと思いますか？



住み続けたいかについて

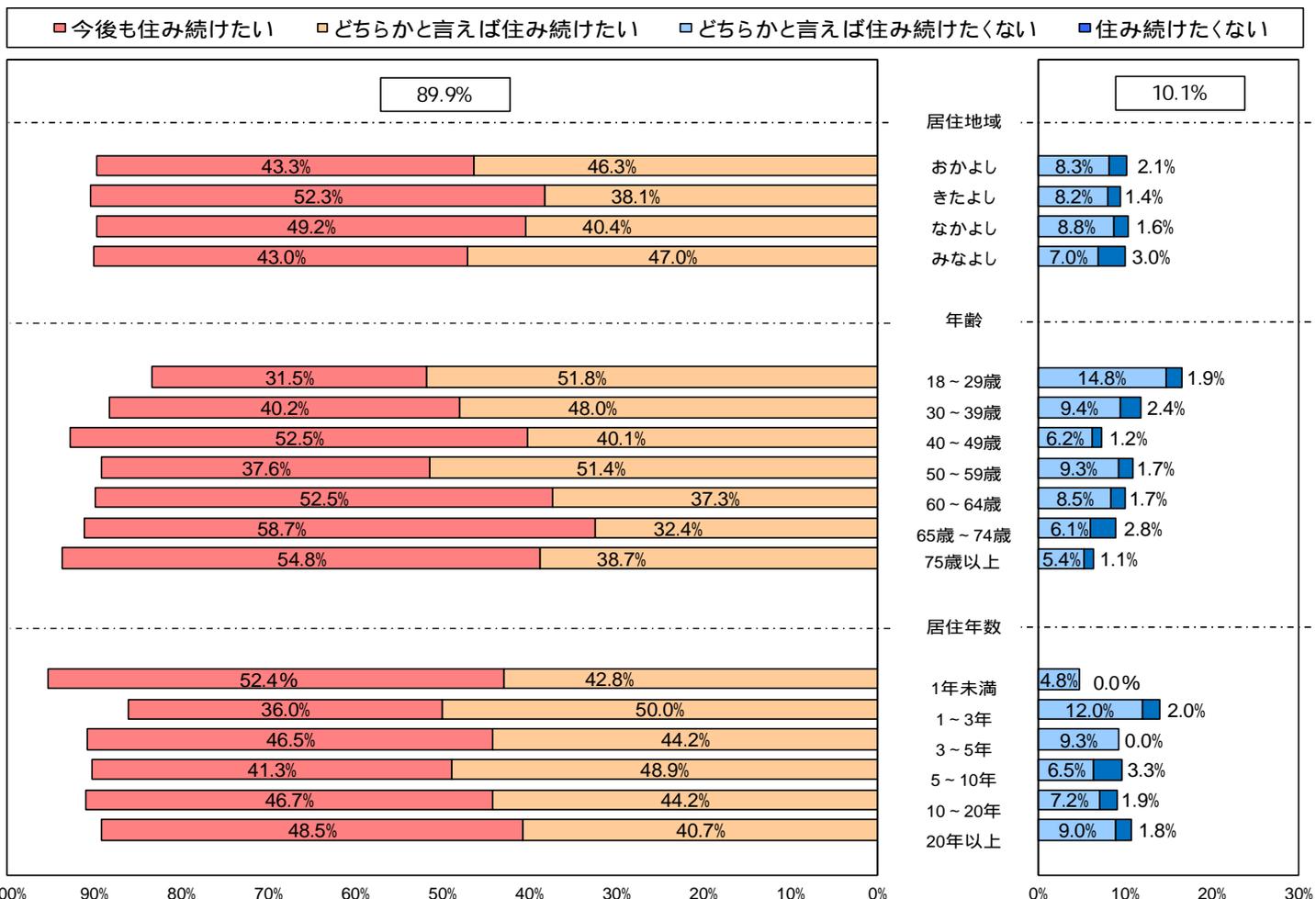
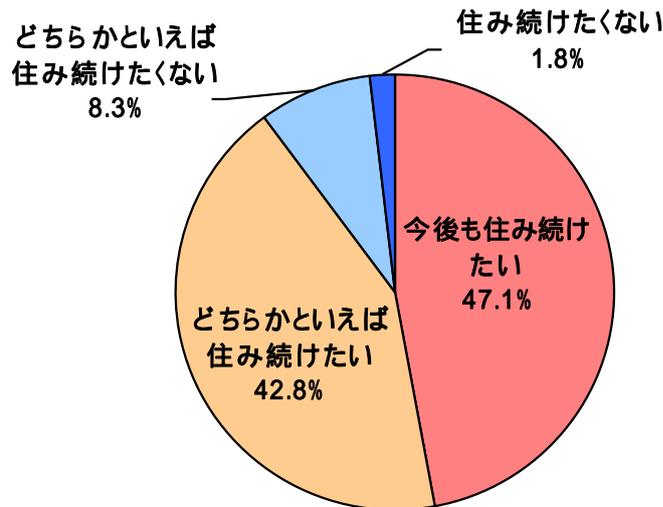
みよし市に住み続けたいかについて、全体では「今後も住み続けたい」が約47%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が約43%と、約9割の人が「住み続けたい」と評価しています。

“住み続けたい”と思う主な理由としては、「住み慣れているから」、「住環境が良い」などとなっています。

一方、“住み続けたくない”と思う理由は、「電車やバスなど交通の便が悪い」、「老後の生活が不安」などとなっています。

Q あなたは、今後もみよし市に住み続けたいと思いますか？

回答数 924

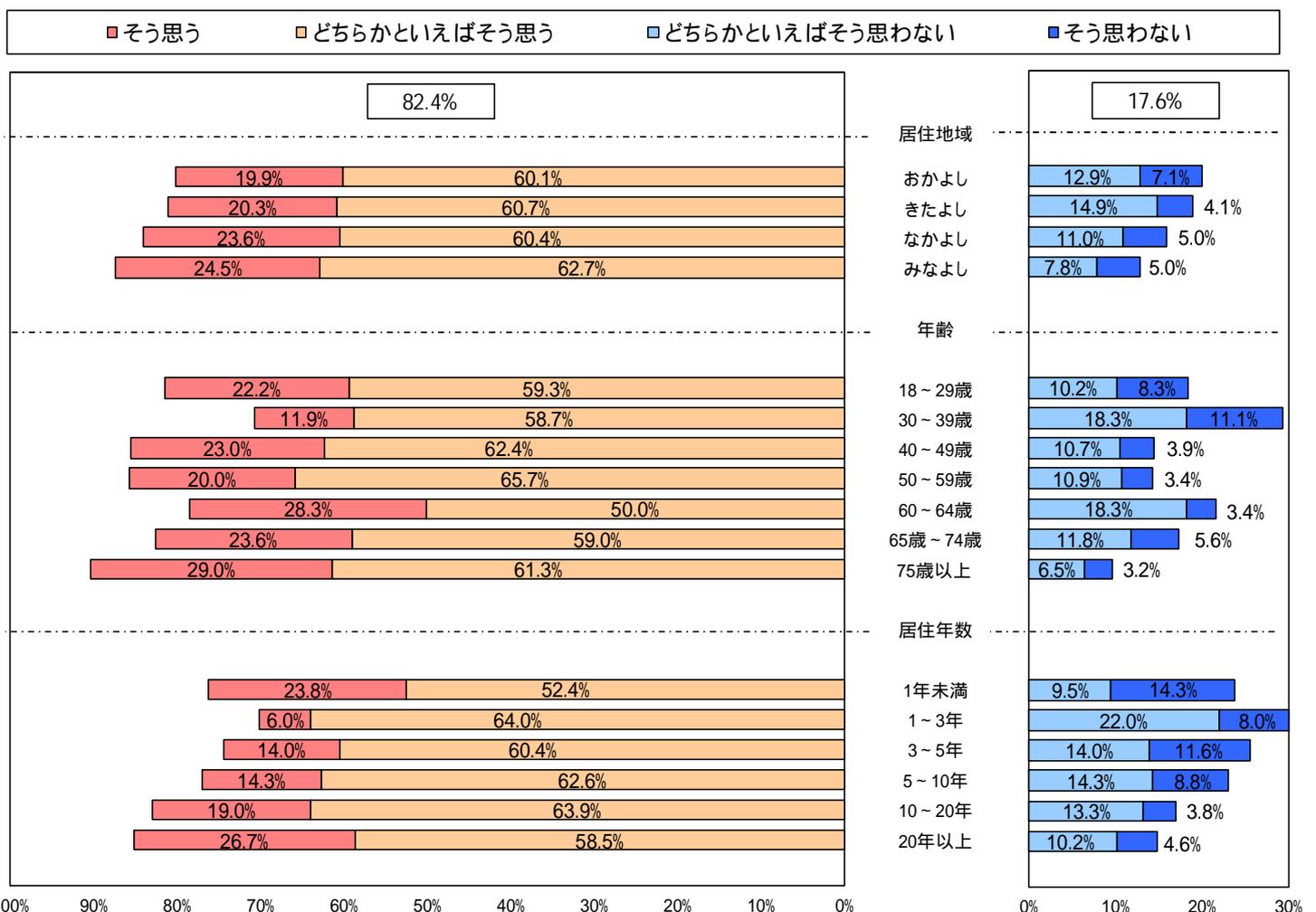
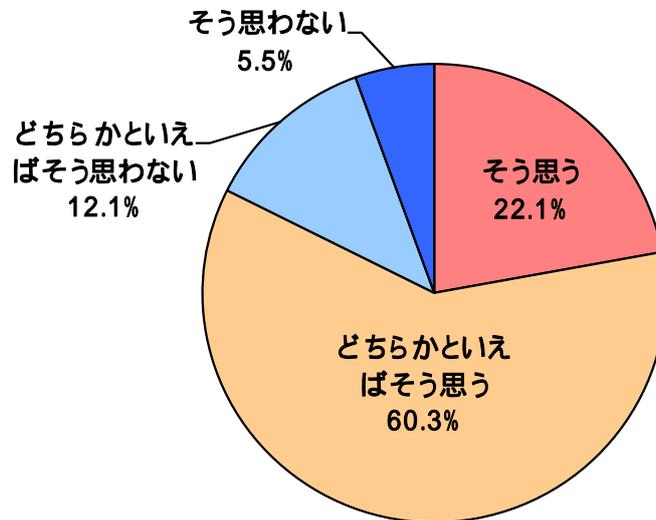


愛着や誇りについて

みよし市に対し、愛着や誇りがあるかについて、全体では「どちらかといえばそう思う」が約60%と最も多く、次いで「そう思う」が約22%と、約8割の人が“愛着や誇りがある”と評価しています。

Q あなたは、みよし市に愛着や誇りを感じていますか？

回答数 926



3 取組方針（施策）別の満足度・重要度評価

本アンケートでは、総合計画における6つの基本目標を達成するための手段となる取組方針及び基本的な考え方における各取組に対する個別の満足度・重要度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価点をつけて、回答者による平均点を算出し評価指標としました。

基本目標	設問	設問の概要（取組方針）
1 安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち	1 - 1	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう
	1 - 2	心豊かな子どもを育てよう
	1 - 3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
2 健康で生き生きと暮らせるまち	2 - 1	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう
	2 - 2	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう
3 安全で安心して暮らせるまち	3 - 1	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう
	3 - 2	交通事故や犯罪のないまちをつくろう
4 魅力と活力があふれるまち	4 - 1	工業のさらなる成長を支えよう
	4 - 2	まちのにぎわいや魅力を生み出そう
	4 - 3	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう
5 自然環境を守り未来へつなぐまち	5 - 1	緑を守り育て、まちを美しくしよう
	5 - 2	環境にやさしいまちにしよう
6 快適で暮らしやすいまち	6 - 1	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	6 - 2	便利で快適な住環境をつくろう
	6 - 3	多様な世代の定住・移住を促進しよう
まちづくりの進め方	7 - 1	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり
	7 - 2	透明性の高い開かれた市政
	7 - 3	効果的・効率的で安定した行財政運営

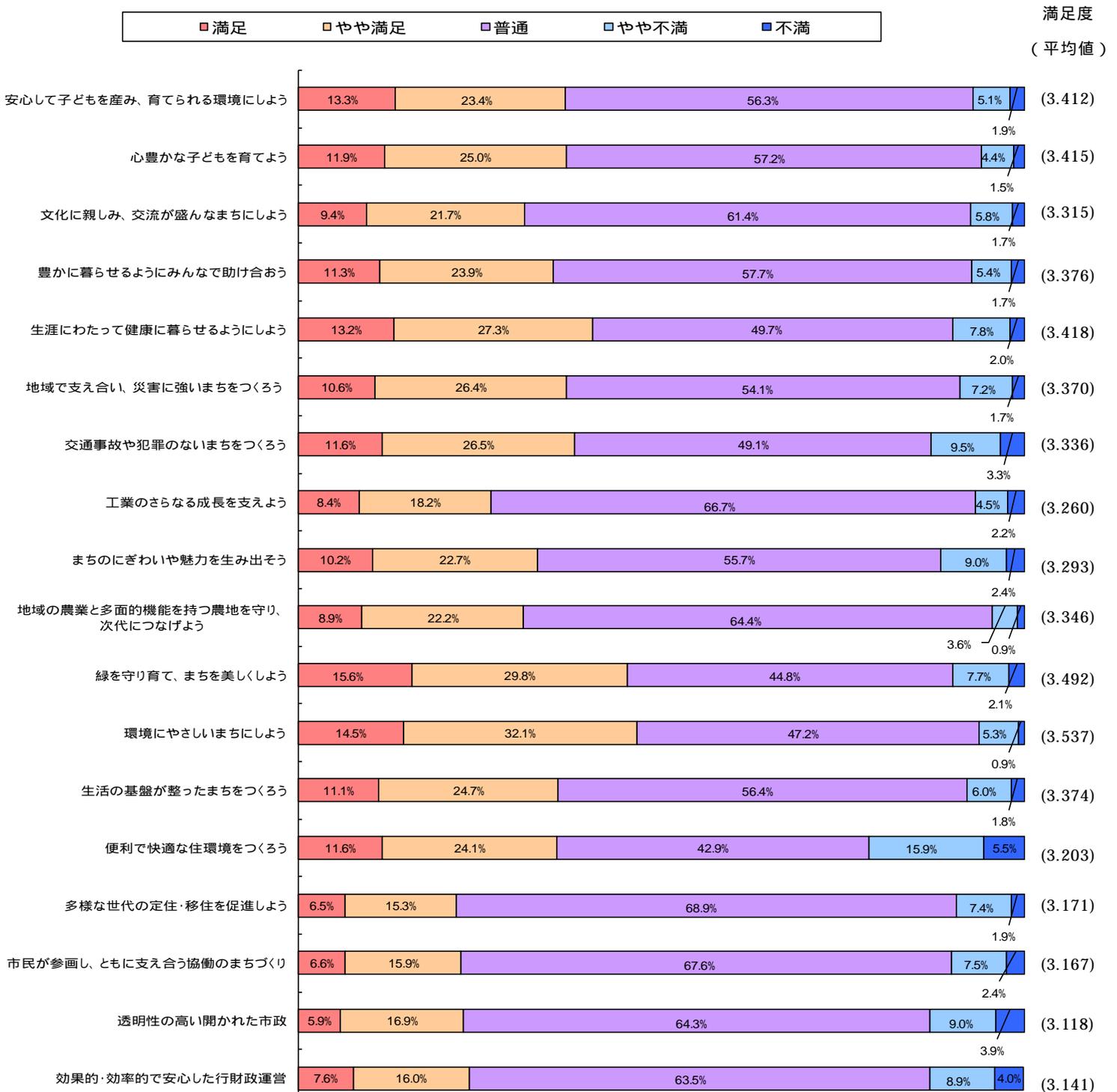
満足度	点数
満足	5点
やや満足	4点
普通	3点
やや不満	2点
不満	1点

重要度	点数
重要	5点
やや重要	4点
あまり重要でない	2点
重要でない	1点
わからない	-

項目別満足度について

項目別満足度の平均点は3.319点で、「環境にやさしいまちにしよう」の3.537点と、「透明性の高い開かれた市政」の3.118点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

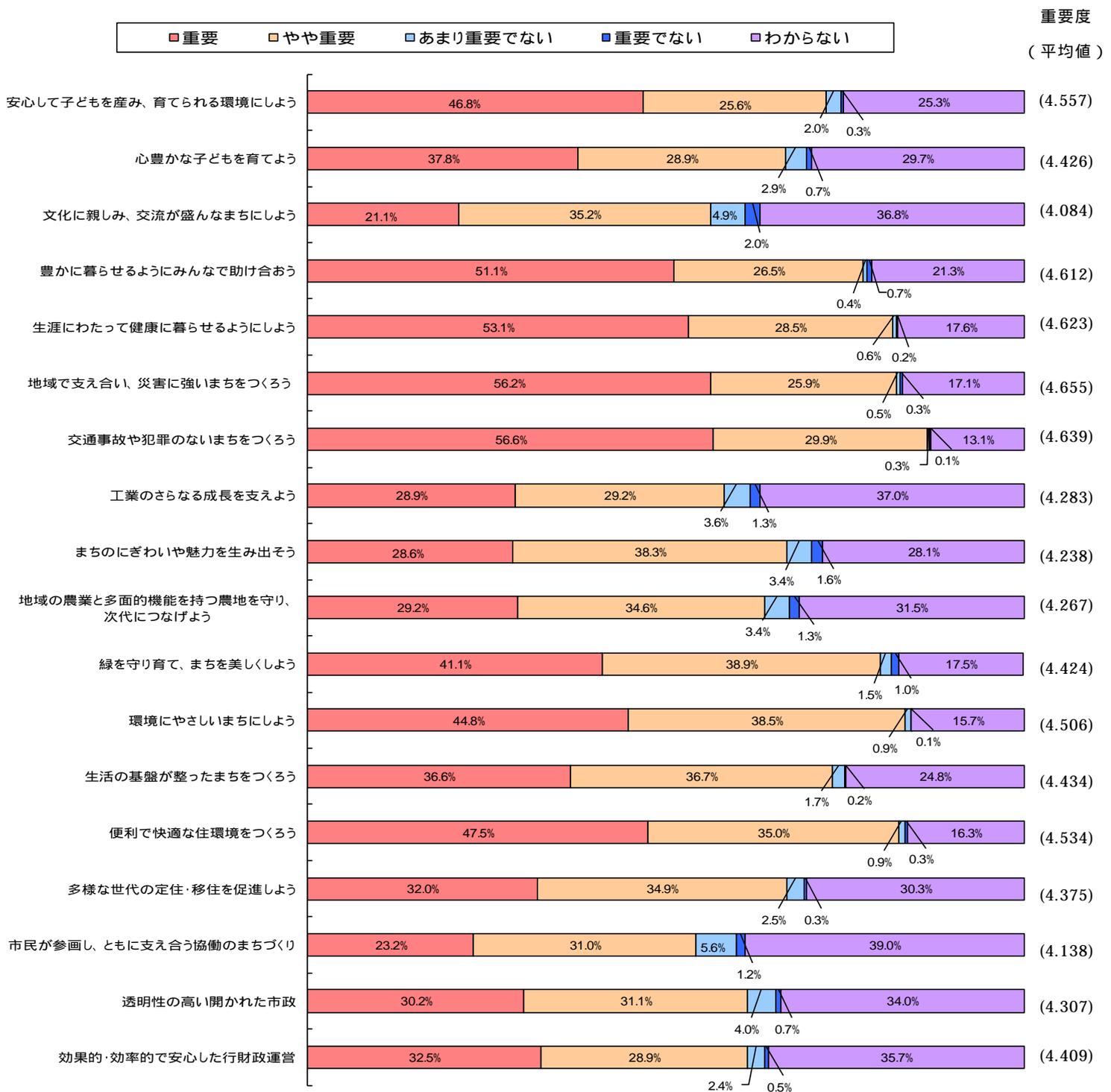
- | | | | |
|----|-------------------------------|-----|-------------------------------|
| 1位 | 環境にやさしいまちにしよう(3.537) | 14位 | 便利で快適な住環境をつくろう(3.203) |
| 2位 | 緑を守り育て、まちを美しくしよう(3.492) | 15位 | 多様な世代の定住・移住を促進しよう(3.171) |
| 3位 | 生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう(3.418) | 16位 | 市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり(3.167) |
| 4位 | 心豊かな子どもを育てよう(3.415) | 17位 | 効果的・効率的で安定した行財政運営(3.141) |
| 5位 | 安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう(3.412) | 18位 | 透明性の高い開かれた市政(3.118) |



項目別重要度について

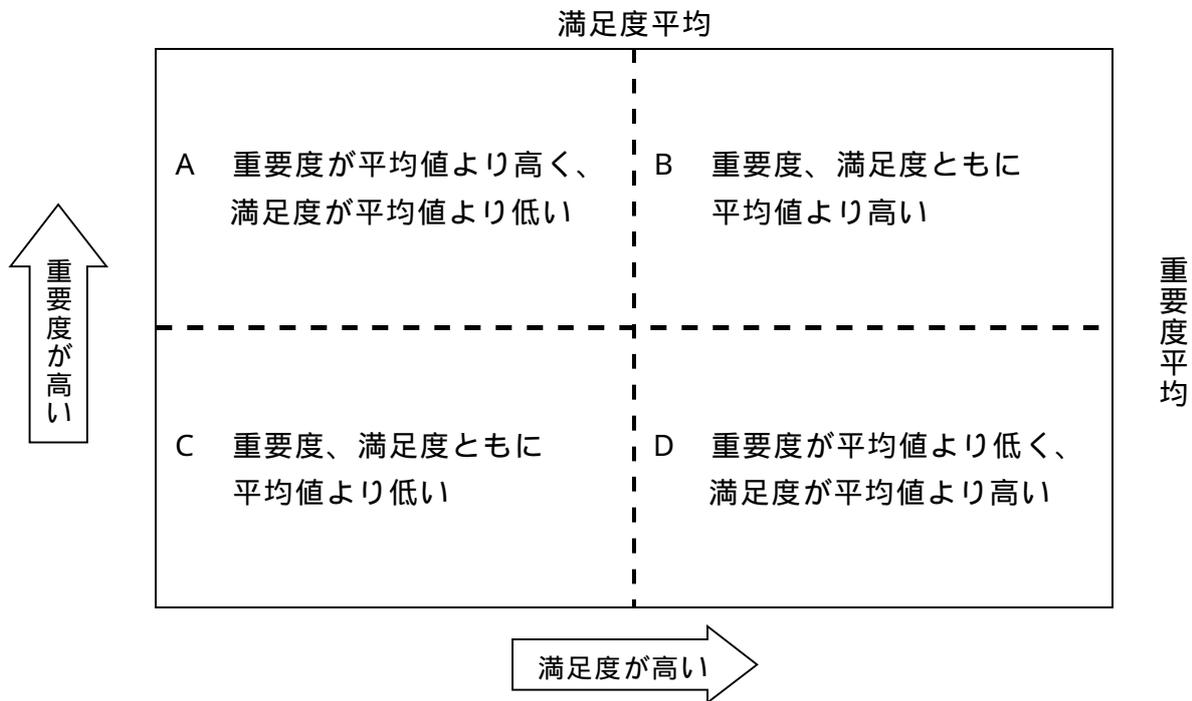
項目別重要度の平均点は 4.417 点で、「地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう」の 4.655 点と、「文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう」の 4.084 点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

1 位	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう(4.655)	14 位	工業のさらなる成長を支えよう(4.283)
2 位	交通事故や犯罪のないまちをつくろう(4.639)	15 位	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう(4.267)
3 位	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう(4.623)	16 位	まちのにぎわいや魅力を生み出そう(4.238)
4 位	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう(4.612)	17 位	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり(4.138)
5 位	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう(4.557)	18 位	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう(4.084)



満足度、重要度の平均値散布図による分析（満足度・重要度の散布図を参照）

各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



Aの領域・・・取組の必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実が求められていると考えられます。このため従来の取組に改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目としてとらえることができます。

「便利で快適な住環境をつくろう」が該当します。

Bの領域・・・取組の必要性は十分認識され、その取組にも満足されているものと考えられます。このため今後も現在の水準を維持していく項目としてとらえることができます。

「生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう」、「安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう」などが該当します。

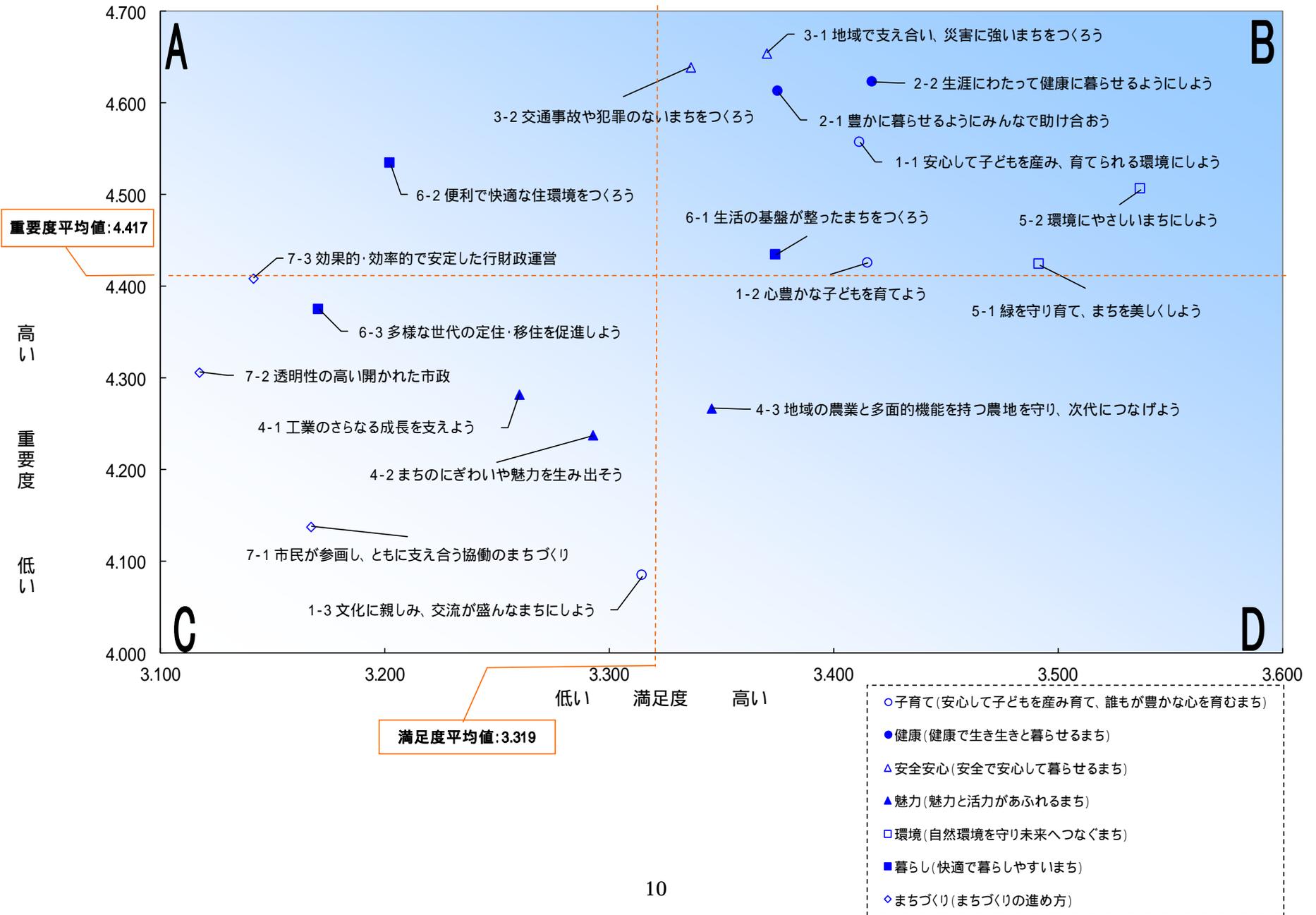
Cの領域・・・取組に対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、今後取組の見直しなどを検討する必要がある項目としてとらえることができます。

「工業のさらなる成長を支えよう」、「まちのにぎわいや魅力を生み出そう」などが該当します。

Dの領域・・・取組の必要性は低いが、満足されているものと考えられます。今後も現状のまま保つ維持項目としてとらえることができます。

「地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう」が該当します。

令和2年度 満足度・重要度の散布図

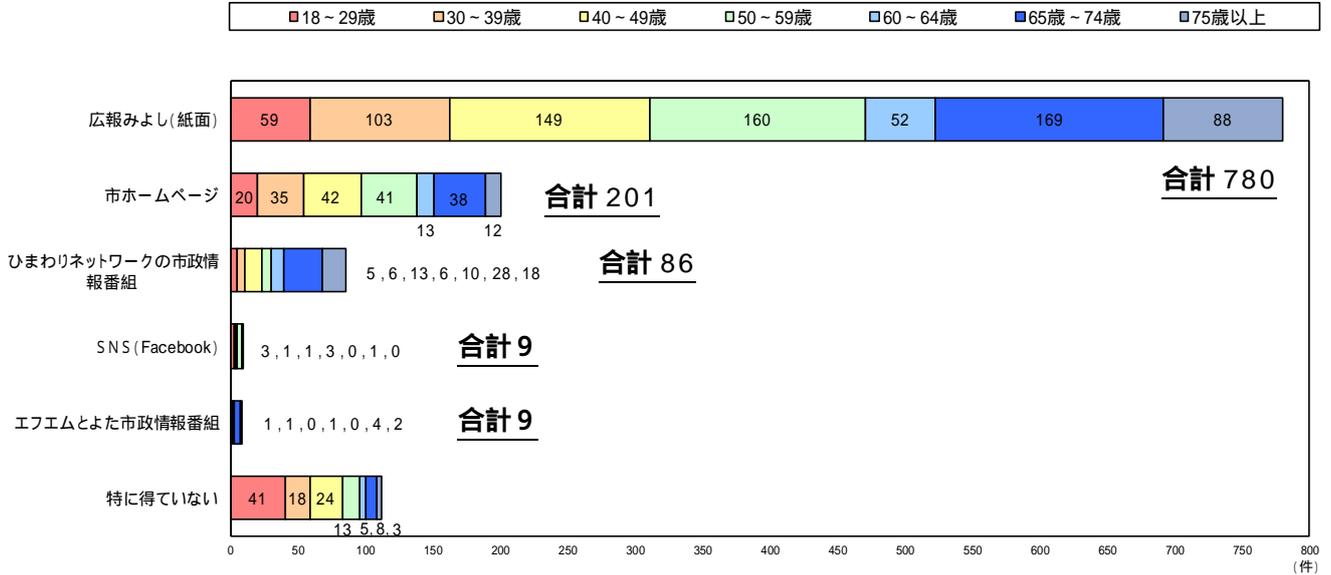


4 その他アンケート集計結果

市政に関する情報の取得手段について

市政に関する情報の取得手段については、広報みよし（紙面）が最も多く 780 件（約 65%）で、ついで市ホームページ 201 件（約 17%）、ひまわりネットワークの市政情報番組 86 件（約 7%）となっています。

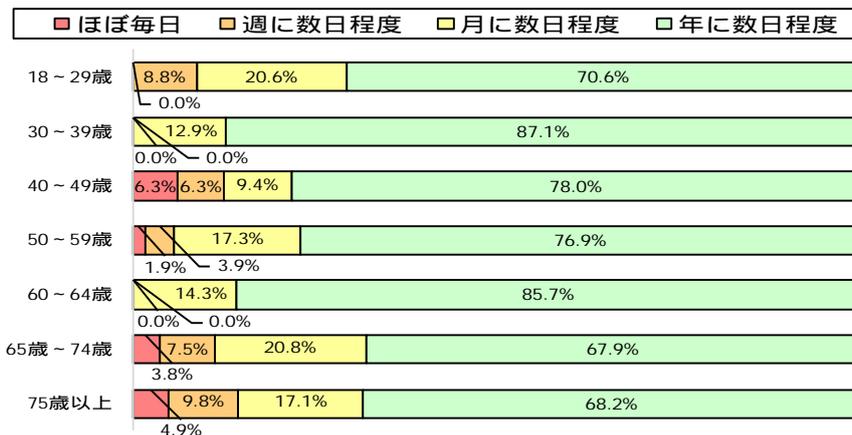
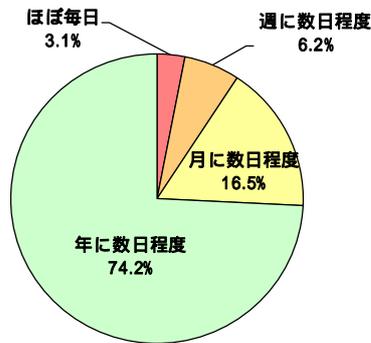
回答数 1,197（複数回答可）



さんさんバスの利用頻度について

さんさんバスを利用すると答えた 260 人のうち、ほぼ毎日利用する人は約 3%、週に数日程度利用する人は約 6%、月に数日程度利用する人は約 17%、年に数日程度利用する人は約 74%でした。

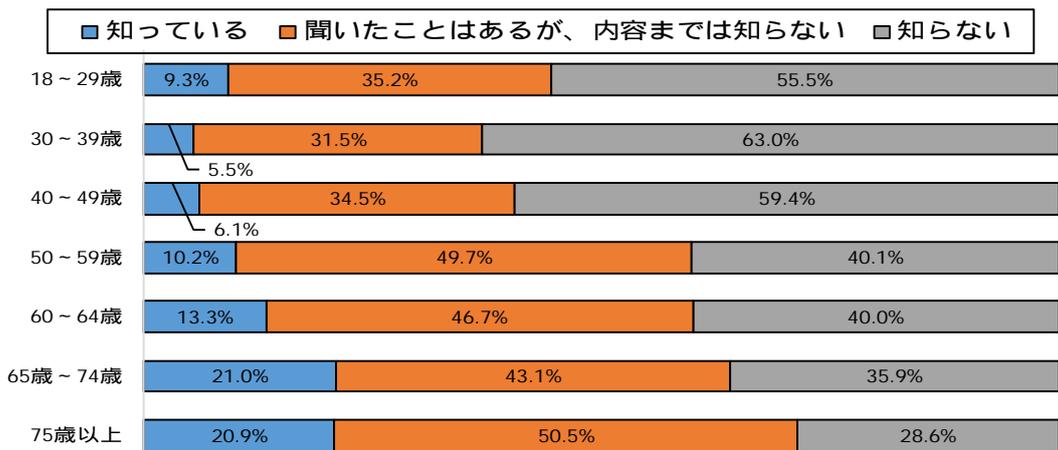
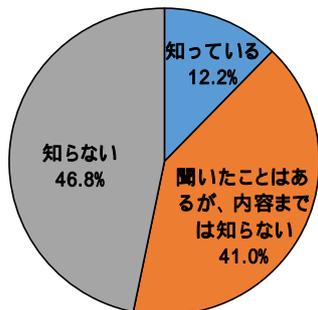
回答数 260



市民憲章について

「生きがいのある住みよいまち」を目標とし、市民生活の基本を成文化した「みよし市民憲章」を知っている、聞いたことがあるが内容までは知らない人は約 53%でした。

回答数 932



SDGs について

世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する 17 の持続可能な開発目標と 169 のターゲットが設定されている SDGs について知っている人は、約 35%でした。

回答数 926

